



# 夏休みこそ「文武両道」

(6時間の授業がない分、普段より「武」多めで)

1年後(=3年次)の夏休みを想像してみましょう。

- すでに部活動を引退している人達も結構いる
- 「大学入試」まで1年を切っている

1年後の夏は「文武両道」の「文」が多めになることは間違いないでしょう。

そこで！ 2年次の夏休みこそ、「武」多めの「文武両道」に励んでみてはいかがでしょうか。部活動だけではありません。文化祭の準備をはじめ、勉強以外の様々な活動に励む人はたくさんいます。部活動や学校行事の準備などは1年後にはできない人も多いはず。つまりこの機会を外せばこの先、一生できない人もいます。

**2年次の今しかできないことをやりましょう！**

**そしてそれらと「勉強」は、皆さんなら必ず両立できます！**

## 【様々な情報(や制度)を知っておくことが武器になる、という話】

テレビドラマ『ドラゴン桜』(2005年版)で、以下のようなエピソードがありました。

東大の二次試験英語の「英作文」の問題を、「東大クラス」の生徒とそうでないクラスの生徒(ただし帰国子女で英語が得意)が、一定の準備期間を経て同時に解いて得点を競うというものです。英語力では間違いなく帰国子女の生徒が上なのですが、勝ったのは東大クラスの生徒でした。勝因は以下のとおりです。

- ① 東大の英作文の採点は「減点法」で行われるという事実があった
- ② 東大クラスの生徒は、その事実は知らされないものの、簡単でも「減点されない書き方」を教えられた
- ③ 帰国子女の生徒は高いレベルの英文を書いたが、細かいミスがあり減点された

試験後、「減点法」のことを明かした主人公の弁護士が生徒たちに伝えたのは、「情報(や制度)を知っていることが武器になり得る」ということでした。テレビドラマですからフィクション的要素が含まれていることを差し引いても、ここから学べることはあるのではないのでしょうか。

大学入試に関する情報や制度をよく知り、それを上手に利用することができた場合、その生徒はそうでない生徒より優位に立てる可能性があるのではないのでしょうか？

## 【『共通テストの基礎知識 確認テスト』振り返り - これはきっかけに過ぎません】

### 〈知っておきたい基礎知識①〉

21 大学入学共通テストの受験案内が配布されるのはいつか？

- 1 受験1年前      2 前年の4月      **3 前年の9月**      4 受験2か月前      正答率41.7%

22 大学入学共通テストを受験する場合、出願はいつか？

- 1 前年の2月      2 前年の7月      **3 前年の10月**      4 受験1か月前      正答率52.2%

⇒ つまりほぼ1年後には共通テストの具体的なことを決める必要があるのです

### 〈知っておきたい基礎知識②〉

「私立大の一般選抜で最も募集人員が多いのは( 39 )で合否を判定する方式です。」

- 39 **1 個別試験のみ**      2 共通テストのみ      3 調査書の数値のみ      4 個別試験と共通テスト  
正答率52.2%

⇒ 私立大学の基本は各大学が用意する「個別試験」です

### 〈知っておきたい基礎知識③〉

国公立大学一般選抜 共通テスト英語(リーディング・リスニング)の配点比率(2021年度入試例)

⇒ 自分が考えている大学の配点比率を知っておくことは大切です

### 〈知っておきたい基礎知識④〉

p.24「試験会場は選択できるのですか？」より、試験会場の決め方として最も適当なものを、それぞれ1~4より選びなさい。

- 82    1 会場リストより受験者自身が会場を指定する      **2 在籍高校からできるだけ近い試験会場が指定される**  
      3 希望した複数の会場から抽選で決定される      4 自宅住所から最も近い試験会場が指定される

正答率39.7%

⇒ 共通テストの試験会場は在籍高校ごとに割り振られるのが基本です

今回の確認テストの目的は、皆さんに「大学の学部」・「大学入試制度」・「共通テスト」などについて考えるきっかけを与えることにあります。皆さんの中にも、「このテストを経て、知らなかったことを知ることができた」、「もっと詳しく大学や入試制度について調べようと思う」などと考える人が出てきたらこのテストは成功です。

情報や制度を知っていることが自分にとって有利に働く可能性があります。

ただし、何が自分にとって有利な情報なのかは自分にしか分からないため、情報は自分で取りに行くしかありません。そのかわり、自分で取って来た情報は自分の武器になるのです。